

教育と保育のための 発達診断セミナー

2024年 6月2日 (日)

13:00~16:40

オンライン ライブ

NPO 法人 (見逃配信あり)
発達保障研究センター・全国障害者問題研究会 共催

【よびかけ】

発達への願いと明日の実践とを結ぶ
『新版 教育と保育のための発達診断』
テキスト編者

白石正久 (龍谷大学名誉教授)・白石恵理子 (滋賀大学教授)

「発達診断」とは、子どもや障害のある人びとの発達への願いや悩みを、発達理論に拠りながら解き明かしていくことです。今回は、幼児期半ばから学童期半ばまでの発達の時期をとりあげます。集団のなかでの自分に気づき、過去から未来へのつながりのなかで今をとらえていく時期、子どもたちはどのような仲間関係、遊びや学びを求めているのでしょうか。

保育所、幼稚園、認定こども園、児童発達支援などで働くみなさん。発達のつまずきはあっても、遊びや生活のなかで楽しさを覚え、友だちといっしょにいろいろなことに挑戦し、豊かに発達して行ってほしいと願っていることでしょう。

小中学校、特別支援学校、放課後等デイサービス、放課後児童クラブなどの学齢期の教育・支援で働くみなさん。子どもの本当の願いが見えなかったり、何を大切にして実践したらよいかがかつかめなくて苦しいときもあるでしょう。

青年・成人期の地域生活や就労支援で働くみなさん。この労働や活動が障害のある人びとの喜びになっているのか、彼らはどんな生活や人生を求めているのかを深く問いたいときもあるでしょう。

その願いや問いを大切にして日々の実践を創造するために、このテキストを作りました。仲間を誘って、本セミナーにご参加ください。学んだことを、職場や地域サークルなどで、いっしょに話しあってください。今、みなさんがつかんでいること、大事にしようと思っていることのなかに、答えにつながる何かがあるのだと思います。本セミナーが、それを見つけ出す手がかりになることを願ってやみません。

プログラム

1. 4歳ころ 発達の質的転換と発達保障



「4歳の節」といわれる発達の転換期。2次元可逆操作の獲得とは。主体性をもった自我の発達をとらえる。(上巻Ⅲ-3章、下巻Ⅱ-5章)

張 貞京さん (京都文教短期大学)
ちゃんちゃんきょん

2. 5歳後半から7歳 就学に向かう時期の発達



学校教育の始まるこの時期。3次元の世界を獲得していきながら、生後第3の新しい発達の原動力が生まれていく。(上巻Ⅲ-4章、下巻Ⅱ-6章)

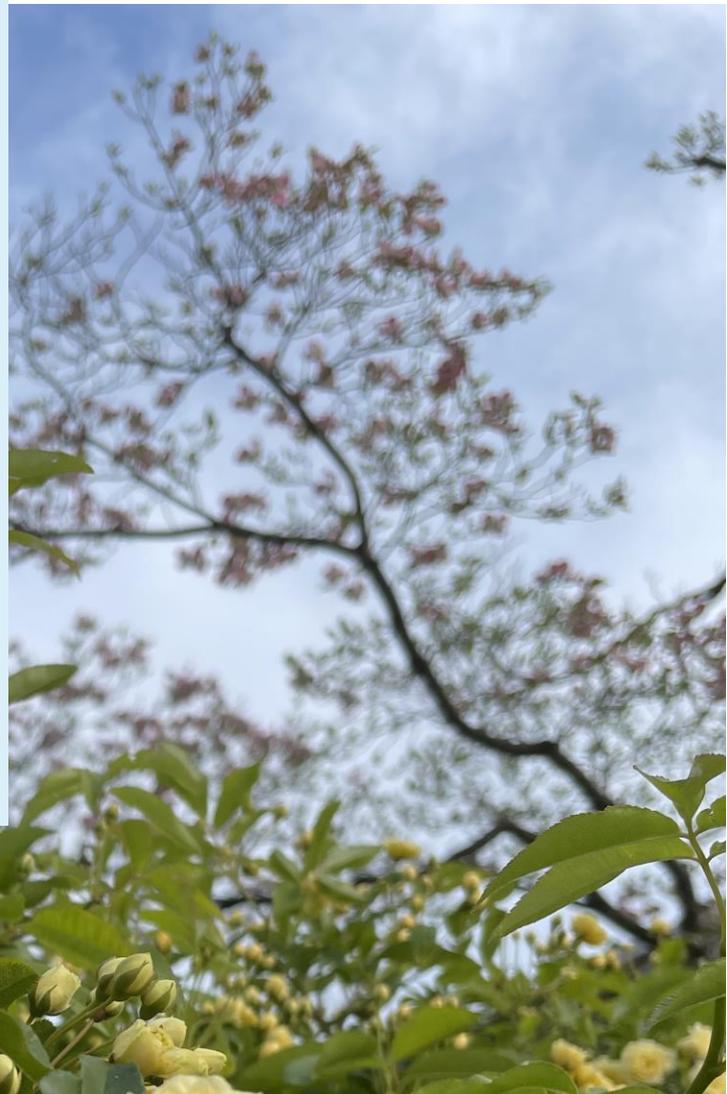
川地亜弥子さん (神戸大学)
かわじ あやこ

3. 9,10歳から13歳 児童期から思春期の発達



9,10歳頃から13歳頃までの論理的思考の発達とそれに関連した自我・社会性の発達の問題を考える。(下巻Ⅱ-7章)

楠 凡之さん (北九州市立大学)
くすのきひろゆき



本セミナーのテキスト 受講時、お手元にご用意ください。

『新版 教育と保育のための発達診断』

白石正久・白石恵理子 編

上下巻とも定価 2,750 円

- 上下巻を通じ目の前の子どもの姿に学びつつ幾度も繰り返しテキストをたどることを願って編まれています。

上 発達診断の基礎理論



【目次】発達保障のための子ども理解の方法 木下孝司/発達段階と発達診断 (1章 乳児期前半の発達と発達診断 河原紀子/2章 乳児期後半の発達と発達診断 松田千都/3章 1歳半の質的転換期の発達と発達保障 西川由紀子/4章 2〜3歳の発達と発達保障 寺川志奈子/5章 4歳の質的転換期の発達と発達診断 藤野友紀/6章 5〜6歳の発達と発達診断 服部敬子/7章 7〜9歳の発達と発達診断 楠凡之/「発達の障害」と発達診断 白石正久

下 発達診断の視点と方法



【目次】子ども・障害のある人の権利と発達保障 玉村公二彦/発達理論と教育・保育の実践 松島明日香/発達の質的転換期とはなにか (1章 乳児期の発達段階と発達保障 白石正久/2章 1歳半の質的転換期と発達保障 白石恵理子/3章 4歳の発達の質的転換期と発達保障 張貞京/4章 7歳の発達の質的転換期と発達保障 川地亜弥子)/障害と発達診断 (1章 自閉スペクトラム症と発達診断 別府哲/2章 重症児と発達診断 白石正久)/ライフサイクルと発達診断の役割 (1章 早期発見・早期対応と発達診断 小原佳代・西原睦子・高田智行・高橋真保子/2章 学校教育と発達診断 櫻井宏明/3章 成人期実践と発達診断 白石恵理子)

テキスト購入のご案内 参加者には上記テキストはじめ関連書籍を参加者限定『特別販売』でご案内します。

- 「発達について学びたい」「障害があるってどういうことなんだろう」「よりよい実践をつくりたい」など、保育・療育、教育、福祉に携わるみなさんの切実な声におこたえします

〈受講者の声〉「実践者が現場で悩んでいることに励ましと希望を与える内容でした。子どもの自己変革の「ねがい」によりそい、主体的に切り開いていくことの大切さを実感しました」

- 職場の仲間や友人との学習会や研修としても

〈受講者の声〉「職員研修に使わせていただきました。利用者について、発達の理解が共有でき、職員の見方を変えないといけない、彼の世界に共感する関係づくりが大切だと話し合いました」

教育と保育のための 発達診断セミナーは 年 2 回

- 本セミナーは、2009年から全国各地で開催し、毎回好評を得てきました。
- 2020年にテキストを全面改訂し、『新版・教育と保育のための発達診断』上下巻となりました。
- 現在は、年2回、オンラインでおこなっています。各回、本書の著者が講師となります。今回は幼児期から思春期に向かう発達を学んでいきます。はばひろい実践の場からのご参加をお待ちしています。
- 次回は12月1日に実施予定。木下孝司さん(神戸大学)、別府哲さん(岐阜大学)、白石恵理子さん(滋賀大学)が講義を担当します。

参加申込は

全国障害者問題研究会ホームページから

申し込み受付期間

5月24日(金)まで



QRコードまたはURLからアクセス

<https://www.nginet.or.jp>

参加費

一般 5,000 円 全障研会員 3,000 円
学生・障害者 2,000 円

お問い合わせ

電話番号 080-4332-2601 土日休日除く9時~17時

メールアドレス s2024@nginet.or.jp

NPO 法人 発達保障研究センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-15-10 西早稲田関口ビル 4F
全国障害者問題研究会 内